

ISO14000

<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業活動の地球環境への負荷を低減するための一つのツールとして環境マネジメントシステムがあり、国際標準化機構（ISO）が国際標準として策定したのが、ISO14000シリーズである。 ・ 現在、国内認証企業は1万社を超え、名実ともに環境企業の証として認められてきている。（中国でも重要視されて多くの現地企業が取得している。） ・ 国内でも、官公庁の積極的な取組みで取引の条件ともなりつつある。
<p>最新情報</p>	<p>< 関連法規の動き ></p> <p>ISO14000 シリーズ規格（国際標準化機構） 各種環境法規 各自治体（条例）や業界団体の取り決め事項</p> <p>< 関連技術の動き ></p> <p>環境マネジメントシステムは、単に環境法規を遵守することだけでなくより高いレベルの環境負荷低減に寄与することが重要となっている。</p> <p>環境マネジメントシステムの根幹は、利害関係者のニーズの把握とその対応である。最近、環境マネジメントシステムの有効性評価で環境会計が重要視されてきた。</p> <p>< 業界の動き ></p> <p>環境マネジメントシステムの認証は特に官公庁との取引では重要になっていきている。環境企業としての外部へのアピール効果と共に、社内のムダの排除に大きく寄与し効果をあげている。</p> <p>ISO9001 規格との連動により、利益につながるシステム構築が重要となってきた。</p> <p>< 今後の課題 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 効率的なシステム構築とその運用としての企業に役立つテーマづくりが課題である。
<p>当センターの活動</p>	<p>< セミナー・出版物の紹介 ></p> <p>（1）セミナー（㈱新技術開発センター） 環境マネジメントシステム審査員フォーマルコース</p> <p>（2）出版物（㈱新技術開発センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境マニュアルそのまま見本（コード：2446） ・ 環境社内規定事例集（コード：2424） ・ 続・環境社内規定事例集（コード：2433） ・ 続々・環境社内規定事例集（コード：2442） ・ 環境関連法規に基づく届出手順書（コード：2453） ・ 環境強化書（コード：2469） ・ 環境会計導入マニュアル（コード：2481）等